

vol. 01

令和3年度 第1号
(年間4回発行 通巻第159号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

令和3年度徳島県商工労働観光部
主要施策の概要

特集2

令和3年度中央会事業の概要紹介

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 01

令和3年度 第1号
(年間4回発行 通巻第159号)

特集 1

令和3年度
徳島県商工労働観光部
主要施策の概要

2

特集 2

令和3年度
中央会事業の概要紹介

7



中央会トピックス

13

- ◎徳島県中央会創立65周年記念表彰式典開催
- ◎令和3年度 通常総会開催
- ◎令和3年度 中央会事務局組織のご紹介

組合クローズアップ 第9回

徳島県菓子工業組合

21



犬伏製菓株式会社

24



組合ホットニュース

29

- ◎徳島県木材買方協同組合
作業支援パワーアシストスーツ着用体験研修会を開催
- ◎徳島県畳商業組合
特別支援学校に新しい畳を寄贈
- ◎徳島県菓子工業組合
HACCP講習会を開催
春のとくしまスイーツフェスタを開催
- ◎令和3年度徳島県表彰!



情報連絡員レポート

34

令和3年5月の景気動向



青年部コーナー

35

- ◎青年部活動トピックス
◇令和3年度徳島県中小企業青年中央会通常総会◇



女性部コーナー

36

- ◎女性部活動トピックス
◇とくしまレディース中央会令和3年度の活動予定◇

中央会事務局職員

十人十色

37

- ◎専務理事 木具 恵



お知らせコーナー

38

- ◎組合の押印を求める行政手続きの一部が見直されました

編集
後記



表紙絵

作者:徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹氏

タイトル:「一ノ森山頂」

一ノ森は剣山から東に連なる約2kmにある山で、山名の通り山頂周辺はゴヨウマツ等の針葉樹が茂る美しい山です。

クマザサの草原に幹回り2メートル近くあるゴヨウマツや白骨樹が林立する山上の庭園を思わせる景観は見事で、標高1879mからの眺望は、四季折々の絶景が楽しめます。



特集

1

令和3年度 徳島県商工労働観光部 主要施策の概要

(単位：千円)



経営雇用の下支えと観光基盤の強化



(1) 安定した経営基盤の確立

⑧新経営者の想いをつなぐ事業承継支援事業 12,000

経営者が長年培ってきた経営資源を円滑に次世代に引き継ぐため、「事業承継ネットワーク」の支援機能を強化するとともに「移住・就労・創業」との連携による「承継候補者」の掘り起しを促進し、県内経済の持続的発展を図る。

⑧オンライン新市場開拓支援事業 8,000

WITHコロナにおける県内ものづくり企業の新たな市場開拓を支援するため、オンライン技術を活用したビジネスマッチングや展示商談会の開催、WEBサイトによる効果的な情報発信に取り組む。

⑧新高付加価値型ものづくり推進事業 6,000

県内ものづくり企業の市場競争力強化を図るため、県産農林水産物の機能性を付与した加工食品や高機能素材を活用した木工製品など、徳島ならではの高付加価値製品の開発を推進する。

中小企業振興資金貸付金 22,931,000

中小企業等の事業継続や経営の安定を図るとともに、最先端デジタル技術の活用により、「新たな日常」に対応した事業転換や新分野展開を促進するため、金融機関、信用保証協会と協力し、「低利の各種融資制度」を通じた円滑な資金調達を支援する。

徳島県地域産業活性化事業 【一部2月補正】 1,008,314

本県経済の活性化を実現させるため、小規模事業者のコロナ禍の克服と持続的発展に資する、商工団体（商工会議所、商工会、中小企業団体中央会）が実施する支援事業等の円滑な推進を図る。

(2) 幅広い人材の育成強化

⑧テクノスクール新技術対策事業 5,900

産業界が求める、最新技術を活用できる人材を育成するため、DXに対応する施設内訓練と在職者訓練の充実強化を図るとともに、県内事業所への技術の普及を行う。

とくしま経営塾「平成長久館」事業 15,000

県内企業の事業継続・発展とともに新たな事業分野への転換に必要な人材の育成を支援するため、商工団体や高等教育機関等と連携し、デジタル技術に関する講座の創設など、企業ニーズを反映した階層別・分野別の体系的な研修プログラムを提供する。

新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業 【一部2月補正】 51,000

新型コロナウイルス感染症の影響で、非正規雇用労働者を中心に厳しい雇用情勢にあるため、正規雇用を行う企業への助成を行うなど、幅広い世代を対象に「雇用の安定化」を促進支援する。

障がい者雇用継続よりそい支援事業 7,430

企業への障がい者雇用を支援するため、企業相談コーディネーターによる企業訪問や「AI活用双方向型FAQシステム」による情報提供を実施する。

とくしま観光人づくり事業 4,500

本県の観光産業を担う人材の育成・活用を図るため、「観光人材の即戦力強化」「次代の観光産業の担い手育成」「地域で活躍する観光人材の創出」を目的とした、産学官連携による体系的な学びの場「とくしま観光アカデミー」を運営する。

(3) 受入環境の整備と情報発信の強化

⑨四国DC周遊観光キャンペーン事業 21,500

2021年10月～12月に開催される「四国DC」と連携し、集客効果と観光消費額の拡大を図るため、「四国DC」の「事前・本番」から「事後」へと繋がる旅行商品造成支援やタイアップキャンペーン等を通年で実施する。

⑩「旅マエ」のとくしま魅力発信強化事業 【2月補正】 5,000

徳島に「行きたい」「体験したい」意欲の増進を図るため、本県観光を旅行者目線で疑似体験できる動画コンテンツを制作し、旅行会社と連携を図り、オンラインを活用したセミナーを実施する。

⑪あすたむらんど徳島20周年魅力アップ事業 18,300

開園20周年を迎え、さらなる来園者の利便性・満足度の向上を図るため、利用者のニーズの高いニューノーマルに対応したトイレの洋式化を進め、来園者の増加に繋げる。

宿泊施設リノベーション支援事業

60,000

宿泊者数や観光消費額の拡大を図るため、県内宿泊施設の魅力向上につながる客室等のリノベーションへの支援を行うことにより、宿泊事業者の投資を促進し、受入環境の整備を図る。

「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト

18,000

「阿波藍」の振興と発展を図るため、新たに阿波藍の魅力を発信する展覧会を開催するとともに、「とくしま藍推進月間」における魅力発信や、国内外での藍染製品の展示・販売会を実施する。



Ⅱ ニューノーマル実装による地域経済の活性化

(1) 持続可能な成長の加速

⑨ 徳島ものづくりDX推進事業

【2月補正】15,000

県内ものづくり企業のDXを推進し、付加価値の高い製品の開発やイノベーションの創出につなげるため、ワンストップ支援窓口による助言や啓発セミナーの開催、デジタル技術導入支援など総合的なサポートを実施する。

⑩ 「3D・VRショールーム」実装プロジェクト

【2月補正】10,000

クリエイティブ産業の集積を図るため、インターネット上に「3D・VR技術」を活用したバーチャルなイベント会場「3D・VRショールーム」を構築し、4K・VR徳島映画祭の受賞作品や県内企業の優れた製品等を発信する。

⑪ オンラインで拓く！ 拡げる！ 海外販路開拓事業

【2月補正】9,500

コロナ禍のなか、県内企業の海外販路拡大を図るため、市場規模が拡大する「越境EC」への出店を支援するとともに、インフルエンサーによる「リモートでの販促プロモーション」や海外バイヤーとの「WEB商談会」を効果的に実施する。

企業立地促進事業費補助金・情報通信関連事業立地促進費補助金

1,451,000

県内企業の生産性向上・競争力強化を図り、経営環境の変化に即応できる企業変革力を有する産業集積を図るため、DX投資を促進する補助事業を創設するとともに、サテライトオフィス誘致等に向けた補助額を充実・強化する。

次世代“光”産業創生事業

42,000

県内LED・藍関連産業の振興と次世代“光”産業の創出を図るため、「LED」、「藍」を活用した付加価値の高い製品づくりや世界市場を見据えた販路開拓等を支援するとともに、「LEDと言えば徳島」のブランド強化に取り組む。

(2) 地方への人材回帰の促進

⑨徳島で就職！オンライン就活支援事業

【2月補正】5,000

コロナ禍における県内企業の採用活動を支援するため、企業情報の発信や採用面接等におけるオンライン化の促進を図る。

⑩とくしまビジネス創造ハブ拠点事業

【2月補正】4,000

ポストコロナに対応したビジネスモデルへの転換を加速するため、都市部からのプロ人材の来訪を促進し、県内経営者や若手起業家とのネットワーク形成やビジネス共創イベントによるイノベーション創出に取り組む事業者を支援する。

とくしま地域活性化雇用創造プロジェクト

75,639

新たな雇用創出と地域産業の活性化を図るため、新成長戦略産業分野の県内企業における商品開発や販路拡大、人材育成等に対する取組みを支援する。

プロフェッショナル人材戦略拠点事業

35,292

県内企業の経営力の強化や雇用環境の改善を図るため、プロフェッショナル人材戦略拠点において、企業の経営者に対し、経営の転換に向けた積極的なコーディネートを実施する。

徳島版マイスター制度ステップアップ事業

14,472

未来のものづくりを支える人材を育成するため、幅広い世代への技能の魅力発信や、高校生に対する産業界と連携した職業体験、若年技能者の技能向上を図るための各種技能大会への参加促進を行う。

(3) 観光需要の拡大

⑪「もっと！とくしま応援割」実施事業

【1月補正】350,000

コロナ禍が長期に及ぶ中、これまでの「とくしま応援割」等の成果やノウハウを活かし、県内観光需要を切れ目なく喚起するとともに、県民の方々に、本県の魅力を再発見していただくため、これまでの応援割をより使いやすく拡充した、宿泊割引制度「もっと！とくしま応援割」を創設する。

⑫“ニューノーマル”誘客プロモーション事業

【2月補正】7,000

国内観光における誘客促進のため、デジタル技術やオンラインを活用し、ニューノーマルに対応したプロモーションを展開する。

夢と感動を！徳島ヴォルティスJ1事業

【一部2月補正】120,000

徳島ヴォルティスの「J1定着」に向けた県民一丸となった応援機運の醸成や、プロスポーツの持つ集客力・情報発信力の活用による、県内宿泊の促進を図るため、シャトルバス運行による渋滞緩和やサポーターを対象とした宿泊割引などを実施する。

世界最高の情熱！阿波おどり体感事業

35,000

本県が誇る伝統芸能・阿波おどりのリスタートにチャレンジするとともに、阿波おどりを活用した観光誘客の促進を図るため、関係自治体、踊り団体等と連携し、安全安心な阿波おどりを開催・支援する。

ニューノーマル対応！「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業

68,000

アニメを活用した地域経済の再活性化を推進するため、ニューノーマルに対応した形での「マチ★アソビ」を核とした「徳島ならではの」のアニメイベントの開催を支援する。

令和3年度 商工労働観光部 主要施策の概要			(単位：千円)
現状・課題	・新型コロナウイルスの拡大防止と社会経済活動の両立 ・地方回帰の流れを産業人材の定着へ ・企業の体力回復により地域経済の再生へ	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	
推進手法	・Society5.0の実現に向けたD X（デジタル・トランスフォーメーション）の実装 ・「観光」×「移住」×「人材育成」の部局連携による地方回帰の促進 ・ニューノーマルへの対応による更なる施策効果の創出		
経済 持続可能な成長の加速	雇用 地方への人材回帰の促進	観光 観光需要の拡大	
(新) 徳島ものづくりDX推進事業 【2月補正】(15,000) (新) 「3D・VRショールーム」実装プロジェクト 【2月補正】(10,000) (新) オンラインで拓く！拡げる！海外販路開拓事業 【2月補正】(9,500) (拡) 企業立地促進事業費補助金・情報通信関連事業立地促進費補助金 (1,451,000) 次世代“光”産業創生事業 (42,000)	(新) 徳島で就職！オンライン就活支援事業 【2月補正】(5,000) (新) とくしまビジネス創造ハブ拠点事業 【2月補正】(4,000) とくしま地域活性化雇用創造プロジェクト (75,639) プロフェッショナル人材戦略拠点事業 (35,292) 徳島版マイスター制度ステップアップ事業 (14,472)	(新) 「もっと！とくしま応援割」実施事業 【1月補正】(350,000) (新) “ニューノーマル”誘客プロモーション事業 【2月補正】(7,000) 夢と感動を！徳島「オルティス」1事業 【一部2月補正】(120,000) 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業 (35,000) ニューノーマル対応！「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業 (68,000)	
 	 	 	

ニューノーマル実装による地域経済の活性化

経営 安定した経営基盤の確立	人材 幅広い人材の育成強化	誘客 受入環境の整備と情報発信の強化
(新) 経営者の想いをつなぐ事業承継支援事業 (12,000) (新) オンライン新市場開拓支援事業 (8,000) (新) 高付加価値型ものづくり推進事業 (6,000) (拡) 中小企業振興資金貸付金 (22,931,000) 徳島県地域産業活性化事業 【一部2月補正】(1,008,314)	(新) テクノスクール新技術対策事業 (5,900) (拡) とくしま経営塾「平成長久館」事業 (15,000) 新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業 【一部2月補正】(51,000) 障がい者雇用継続よりそい支援事業 (7,430) とくしま観光人づくり事業 (4,500)	(新) 四国DC周遊観光キャンペーン事業 (21,500) (新) 「旅マエ」のとくしま魅力発信強化事業 【2月補正】(5,000) (新) あすたむらんど徳島20周年魅力アップ事業 (18,300) 宿泊施設リノベーション支援事業 (60,000) 「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト (18,000)

経営雇用の下支えと観光基盤の強化

未来に「希望を生み出す」徳島経済の実現！

特集 2

令和 3 年度 中央会事業の概要紹介

中央会では、組合事業の活性化と健全なる組合運営が図れるように、
本年度も引き続き組合の方々に利用していただくための各種事業を展開しています。

事業を活性化、見直したい

組合・組合員企業経営サポート事業

(1) 専門家相談事業（3回）

組合等に対する指導のうち、法律・税務・技術・経営・公害・保安・コンピュータ・マーケティング・デザイン問題等に関する専門的な問題について、外部専門家（弁護士・公認会計士・税理士・技術士・中小企業診断士等）を活用し、適切な指導を行います。
〔連携推進課〕

(2) 組合特定問題研究会（6回）

組合及び業界団体等を対象に、特定の問題に精通する専門家を講師として招聘して解説を受け、これらに対して集団討議・研究を行います。
〔連携推進課〕

(3) 組合員企業パワーアップサポート事業（1企業）

組合員企業の経営力向上を目的に、専門家及び中央会内診断士等が経営者等と共にチームを組み、企業の経営上の問題点及び課題の解決、改善等を行います。
〔連携推進課〕

スキルアップ事業

（2組合）

中小企業を取り巻く環境は、規制緩和、技術革新の進展等様々な変化が生じ、厳しい環境変化に直面しています。このような環境変化に対応するための技術革新への取り組みは今後ますます重要となっています。

このような状況に鑑み、本事業により組合や未組織グループの技術向上の取り組みをスムーズにし、環境変化への積極的な対応を図ります。
〔組織支援課〕

組合管理者等講習会

（1回）

組合は中小企業振興の要請から種々の税法上の特典が与えられており、これらの特典は各種税法に及び、積極的に取り組むことが必要であります。特に組合会計は一般事業会計処理と異なり組合特有の会計処理が義務づけられています。これらに対応する決算・税務手続と定款上義務付けられている

各種積立金の処理の方法をスムーズに進めるため、専門家を招聘し決算実務講習会を開催します。

〔組織支援課〕

小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業

(原則1組合)

組合や組合員の「経営基盤の強化」「生産性の向上」を目指した「既存の共同事業の改善」「新たな事業開発」のためのフィージビリティ・スタディ（実現可能性調査）の実施、さらにはその結果を具体化するための事業の実施についての助成を行います。

〔総務課〕

小企業者組織化特別講習会

(3組合)

小企業者の組織化、小企業者組合の運営向上等を図るため、小企業者及び小企業者組合関係者を対象とした講習会を開催します。

〔総務課〕

組合事務局交流会

(1回)

組合事務局専従役職員を対象に、中小企業施策の普及と組合運営上必要な法律・会計などの知識の向上と情報交換を行うことを目的とした交流会を開催します。

〔連携推進課〕

取引力強化推進事業

(2組合)

中小企業・小規模事業者が連携して実施する共同宣伝、ブランド構築、組合員の事業・企業紹介等のための組合ホームページやチラシの作成等、取引力強化促進を図るために実施する取り組みを支援します。

〔総務課〕

モデル組合認定支援事業

(2組合)

共同事業活動を活発に行い、業績が優良で、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図ります。

〔総務課〕

効果的な中小企業販路開拓支援事業

大企業と比べ経営資源の乏しい中小企業においては、商談に臨む心構えや事前準備の不足から売込先企業に対して自社の優れた商品や経営資源をアピール出来ず、商談機会のロスを招くことが多々見受けられます。このような現状を改善するため、中小企業が売込先企業との商談時、的を射た自社商品のPRが可能な商談力の強化を支援します。

〔組織支援課〕

徳島県中小製造・サービス業新生活様式対応販路開拓支援事業

新型コロナウイルス感染症のまん延により、事業活動においても商慣習が大きく変化し、従来の方法での販路開拓が困難になっています。

このような中、新生活様式に対応した製品・サービスを提供する県内中小企業者等に対し、非対面による販路開拓等のソフト面での課題について、動画制作・専門家の助言などを行い、支援します。

〔連携推進課〕

研修会・講習会等を開催したい

組合青年部活動促進支援事業

徳島県経済の次代を担う若手経営者・後継者の育成とそれら若手経営者・後継者が所属する組合青年部における事業活動の促進を図るとともに、各々の組合青年部においてその活動を牽引するリーダー間の交流の場を設け、青年部活動を運営する上での諸課題への対応や異業種間・地域間の連携等について討議することを目的とします。

〔連携推進課〕

組合活性化研修助成事業

(4組合)

中小企業が組合等の連携組織を通じて、中小企業にとって特に重要性の高い問題（技術、新製品開発、新分野進出、情報化、マーケティング、品質管理、労働等）について、その解決や新たな事業展開を図るための研究が必要不可欠であるが、独自で研修等を行うことは極めて困難な状況にあります。このため組合が組合員を対象として実施する研修事業に対し助成を行います。

〔組織支援課〕

組合等連携組織体での女性活躍推進事業

とくしまレディース中央会を通じて、組合等の組織体で活躍する女性の交流や研鑽の場をつくり、活動の輪を拡大するために、時機に適した研修会や交流会等の各種事業を実施します。

〔連携推進課〕

情報化に取り組みたい

中央会IT研修会

(1回)

中小企業者等は、生産性の向上や業務の効率化、新ビジネスの創出、販路の拡大といった様々な経営課題を抱えています。

そこで本事業では、本会会員組合及び組合員企業等を対象に、種々の課題の解決に繋げる方策の一つとして、ITの利活用について学ぶ研修会を実施します。

〔組織支援課〕

防災力・危機管理能力を強化したい

BCP策定支援による企業力強化推進事業

(1) 中小企業組合等BCP策定・実効性向上促進事業（原則5企業）

徳島県下の中小企業にとって地震や台風等をはじめとする想定外の災害・事故への対策は不可欠です。本事業では、BCP未策定企業及びBCP策定済み企業でブラッシュアップを希望する組合・組合員企業・徳島県内の中小企業を対象に専門家コンサルタントを招聘し、BCP策定指導を6回コースで実施し、参加企業独自のオーダーメイドBCPの策定を支援します。〔連携推進課〕

(2) BCPトップセミナー（1回）

中小企業における先進的なBCP導入事例紹介及び実効性のあるBCPに向けての情報提供を兼ねたセミナーを開催し、策定企業におけるBCPの改善、未策定企業の掘り起こしを行います。〔連携推進課〕

(3) 中小企業BCP図上訓練（1回）

実際に大規模災害が起こったことを想定したシミュレーション訓練を行い、体験してもらうことにより、BCP策定企業にはより実効性のあるBCPに向けての点検・見直しを、未策定企業にはBCPの有効性を体験してもらい、BCP策定の推進を図ります。〔連携推進課〕

中小企業使えるBCP訓練モデル事業

（3企業）

BCPを策定しただけでは、それが不測の事態（インシデント）が発生した際に計画した通りに機能するとは限りません。BCPの実効性を高めるためには、BCP訓練（演習・テスト）によりその有効性を検証することが不可欠です。

本事業では、受講対象を徳島県企業BCP認定取得企業とし、BCPに対する習熟度を向上させるとともに、より実践的なBCPとなるための行動・操作手順の改善を図るため、受講企業毎のオリジナル訓練を実施します。〔連携推進課〕

外国人技能実習生共同受入事業を適正に実施したい

外国人技能実習生受入企業適正化推進事業

団体監理型で外国人技能実習生を受け入れている受入企業（実習実施者）に対して社会保険労務士等の専門家を招聘し、外国人技能実習生受入制度並びに関係法令の講習会を開催します。

〔組織支援課〕

外国人技能実習制度適正化指導事業

外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等（監理団体）並びに組合員（実習実施者）による不正行為の防止に努めるため、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家並びに中央会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善を図ります。

〔組織支援課〕

官公需を受注したい

官公需総合相談センター事業

（随時）

中小企業の官公需対策を充実させるため、官公需に係る発注情報、落札情報、競争入札参加資格申請受付情報等について情報収集を行うと共に、地域の業界団体や中小企業等に情報提供を行います。

〔組織支援課〕

環境保全活動に取り組みたい

中小企業環境保全活動支援事業

(1) 環境保全活動の相談窓口の設置

本会指導員による企業の環境活動保全活動に関する窓口相談を実施します。

〔連携推進課〕

(2) 環境保全活動・エコアクション21関連セミナー

県内中小企業等を対象に、EA21、ESCO、カーボンオフセット、SDGs等のテーマ別にセミナーを開催します。

〔連携推進課〕

(3) エコアクション21個別相談会

エコアクション21の制度普及、認証取得事業者へのフォローアップとして、個別相談会を開催します。

〔連携推進課〕

(4) 専門家相談

企業が実施する環境保全活動についての専門的な相談に対応するため、専門家を現地に派遣し、問題解決を図るための具体的な指導を行います。

〔連携推進課〕

人材確保のため業界や自社のPRに取り組みたい

大学と業界団体が協調した中小企業の人材定着支援事業

徳島県内の各大学等（就職担当者）が業界団体を通した傘下中小企業において仕事内容を実感・体感し、中小企業に対する現状認識を深めることを目的に、中小企業の仕事現場への視察を実施します。

〔連携推進課〕

事業承継の準備に取り組みたい

業界団体を対象とした中小企業事業承継支援事業

（1組合）

事業承継の厳しい状況を改善すべく、業界団体と協調して、傘下中小企業の経営者及び事業を引き継ぐ後継者等を対象に、「事業承継を自分事としてとらえる」ため、業界特有の課題を考慮した演習を交えた講習会を実施します。

〔組織支援課〕

働き方改革に取り組みたい

働き方改革対応支援事業

中小企業組合及びその組合員企業等を対象に、「働き方改革」関連法全般の内容と就業規則、36協定届の作成についての講習会を開催するとともに、徳島県社会保険労務士会と連携し組合等に対して巡回支援を行うことで、制度の普及推進と届出等の支援を行います。

〔連携推進課〕

令和3年度の事業実施対象組合がすでに決定している事業もありますので、実施希望される組合は、中央会各事業担当課までお問い合わせください。



創立65周年記念表彰式典開催



去る令和3年6月23日(水)、徳島県中小企業団体中央会創立65周年記念表彰式典が、ホテルサンシャイン徳島アネックス(徳島市南出来島町)において举行されました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、できる限り少人数、短時間で開催することとし、ご来賓には全国知事会会長・徳島県知事の飯泉嘉門様をお招きし、旧来どおりのような多くの来賓のご招待や式典終了後の祝賀会の開催は取りやめました。

岸小三郎副会長による開式の辞の後、主催者を代表して、布川 徹会長より「本会は、昭和30年10月18日に発足し、以来65年間中小企業の組織化による経営基盤の強化や経営課題の解決などを図ることによって、徳島県地域経済の振興・発展に貢献して参りました。今日の式典を迎えるにあたり、多くの先人方のご功績に想いを馳せ、深く敬意と感謝の念を改めて胸に刻んでおります。また、これも偏に国・県並びに中小企業関係機関、会員組合及び組合員企業の皆様のご指導、ご支援、ご協力の賜であると、改めて深く感謝申し上げる次第であります。昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、中小企業の事業環境はかつてないほど厳しいものになっております。本会は、創立65周年を新たな出発点と位置づけ、活力のあるポストコロナの社会構築に向け、今一度中小企業組織化の唯一の専門的支援機関としての使命を鑑み、組合等を通じた地域中小企業・小規模企業振興に積極的かつ迅速に取り組んで参ります。会員並びに関係各位の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と式辞が述べられ、表彰状の授与が執り行われました。



開式の辞 徳島県中央会 岸 小三郎 副会長



式 辞 徳島県中央会 布川 徹 会長

表彰式では、四国経済産業局長表彰、徳島県知事表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰、徳島県中小企業団体中央会会長表彰をそれぞれ受彰された優良組合（39組合）、組合功労者（50名）、優良組合青年部（4団体）、組合優良職員（14名）、中央会優良職員（1名）の中から各彰の代表者に対して表彰状が授与されました。



〔徳島県知事表彰 受彰者代表〕
徳島県林材業協同組合 理事長 山田喜三郎 様



〔四国経済産業局長表彰 受彰者代表〕
徳島県中古自動車販売商工組合 理事長 多田 勇夫 様



〔全国中小企業団体中央会会長表彰 受彰者代表〕
協栄協同組合 理事長 栗飯原一平 様



〔徳島県中小企業団体中央会会長表彰 受彰者代表〕
海部商業協同組合 理事長 山田 直人 様



全国知事会会長・徳島県知事 飯泉 嘉門 氏

ご来賓の全国知事会会長・徳島県知事の飯泉嘉門様よりご祝辞をいただいたのち、受彰者を代表して、徳島県中古自動車販売商工組合の多田勇夫理事長より、「表彰の栄に浴しましたことは、誠に感謝の極みであります。この栄誉は、受彰者一同終生忘れることができない誇りであり、厚く御礼申し上げる次第であります。本日の受彰は、自らの力によるものではなく、ひとえに組合関係各位のお力添えによるものであり、衷心よりお礼申し上げます。感激を胸に抱き、組合並びに中小企業の振興発展に今後も微力ながら全力を傾け、ご期待に添うよう努力いたします。」と謝辞が述べられました。

最後に、平石元治副会長による閉式の辞により、徳島県中小企業団体中央会創立65周年記念表彰式典を終了いたしました。



受彰者を代表して謝辞を述べる
徳島県中古自動車販売商工組合
多田 勇夫 理事長



閉式の辞 徳島県中央会 平石 元治 副会長

創立65周年表彰一覧

敬称略・順不同

四国経済産業局長表彰

〔優良組合〕（2組合）

徳島県中古自動車販売商工組合
南四国たばこ販売協同組合連合会

〔優良組合青年部〕（1青年部）

徳島県鉄鋼協同組合青年部

〔組合功労者〕（2名）

篠野 義秀 徳島市指定上下水道工事店協同組合 理事長
山本 紘一 徳島県鉄鋼協同組合 理事

徳島県知事表彰

〔優良組合〕（3組合）

協同組合物流ネットワーク徳島
徳島県木竹工業協同組合連合会
徳島県林材業協同組合

〔優良組合青年部〕（2青年部）

徳島県鉄骨構造協同組合青年部
徳島県電気工事業工業組合青年部

〔組合功労者〕（4名）

飯田 禎彦 徳島県味噌工業協同組合 理事
谷澤 康則 全日食チェーン四国協同組合 理事
中野 寿之 徳島県鉄鋼協同組合 副理事長
中村 太一 徳島ビルメンテナンス協同組合 理事長

〔中央会優良職員〕（1名）

岡崎 博 徳島県中小企業団体中央会 連携推進課課長心得

全国中小企業団体中央会会長表彰

〔優良組合〕（4組合）

協栄協同組合
小松島サンパーク協同組合
徳島県室内装飾事業協同組合
協同組合マリンピア・ロジテック徳島

〔優良組合青年部〕（1青年部）

徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部

〔組合功労者〕（4名）

多田 雅信 徳島県木材協同組合連合会 副理事長
中筋 章聡 徳島市指定上下水道工事店協同組合 専務理事
福田 明吉 徳島県味噌工業協同組合 監事
藤川 博之 徳島県石油卸販売協同組合 理事長

徳島県中小企業団体中央会会長表彰

〔優良組合〕（30組合）

協同組合阿波池田ラクーンネット
大上木材企業組合
カیفカンキョウ協業組合
海部建設業協同組合
海部商業協同組合
協業組合共生
柔道整復師会協同組合
新丹生谷製材協同組合
橘湾開発建設資材協同組合
協同組合タック

ツツイグループ協同組合
徳島技術交流協同組合
協同組合徳島県解体工事業協会
徳島県ガス集金事業協同組合
徳島県化粧品小売協同組合
徳島県国際事業協同組合
徳島建材協同組合
徳島県書店商業組合
徳島県美容用品商業協同組合
徳島県平和エフ・エス協同組合

徳島県遊技業協同組合
徳島市魚市場卸協同組合
徳島支部建設業協同組合
徳島西部排水処理協同組合
徳島光メディア協同組合
協同組合徳島マリンピア
ニッサングループ協同組合
ハウスジー住宅センター協同組合
協同組合バンドーグループ
牟岐商業開発協同組合

〔組合功労者〕（40名）

川西 正夫	徳島南部電気工事業協同組合	理事長	小松 聡	徳島市指定上下水道工事店協同組合	理事
坂本 孝	徳島県鉄鋼協同組合	理事	笠井 一郎	徳島市指定上下水道工事店協同組合	監事
田中 公明	徳島県鉄鋼協同組合	理事	濱口 芳暉	鳴門電気工事協同組合	理事長
倉橋 隆人	徳島県鉄骨構造協同組合	理事	来見 良英	吉野川市上下水道工事店協同組合	理事長
立道 健司	徳島県鉄骨構造協同組合	理事	秦 幸助	徳島木材卸商業団地協同組合	理事長
仲田 優晴	徳島製材団地協同組合	副理事長	三木 真一	徳島県主食集荷協同組合	理事長
松島 章公	徳島製材団地協同組合	副理事長	川島 賢一	徳島県主食集荷協同組合	専務理事
泊 史郎	徳島製材団地協同組合	会計理事	八木 善正	徳島県主食集荷協同組合	理事
松下 利治	鴨島電気工事協同組合	理事	三宅 真二	徳島県主食集荷協同組合	理事
新居 健	鴨島電気工事協同組合	理事	藤田 實	徳島資源加工処理協同組合	会計理事
柳本 勝彦	協同組合橘優良店会	副理事長	後藤 浩久	徳島資源加工処理協同組合	監事
青木 晃	協同組合橘優良店会	理事	高橋 優一	徳島県室内装飾事業協同組合	理事
中西 睦	協同組合橘優良店会	理事	小濱 孝彦	徳島県木材協同組合連合会	副理事長
庄野 宏	徳島県セメント卸商協同組合	理事	北島 義貴	徳島県自動車整備商工組合	理事長
鈴栄 順治	徳島市中央卸売市場青果仲卸協同組合	副理事長	石川 勝	徳島県美容用品商業協同組合	副理事長
瀬尾 圭司	徳島市中央卸売市場青果仲卸協同組合	理事	嵯峨 哲也	ニッサングループ協同組合	理事
畑岡 孝治	徳島市中央卸売市場青果仲卸協同組合	監事	篠原 彦次	ニッサングループ協同組合	理事
藤原 通弘	徳島県板金工業組合	専務理事	藤本 宜大	鳴門市清掃協同組合	理事
森本 秀樹	徳島県印刷工業組合	監事	山下 祐司	ワークスロジテック協同組合	理事長
今津 三郎	徳島電気工事協同組合	理事長	新居 桂	ワークスロジテック協同組合	理事

〔組合優良職員〕（14名）

筒井 明	徳島製材団地協同組合	前坂 博之	徳島県自動車整備商工組合
岩佐 均	徳島県木材団地協同組合連合会	古谷 恵子	徳島県自動車整備商工組合
中島 康之	徳島市指定上下水道工事店協同組合	西藤 靖弘	鳴門市清掃協同組合
角 綾子	徳島市指定上下水道工事店協同組合	菱崎 嘉仁	鳴門市清掃協同組合
黒田 美帆	徳島市指定上下水道工事店協同組合	村上 武	鳴門市清掃協同組合
清水 宏昭	徳島化製事業協業組合	福本 博美	鳴門市清掃協同組合
平田 正明	徳島化製事業協業組合	新居 静	ワークスロジテック協同組合

令和3年度 通常総会開催



去る令和3年6月23日（水）、当会の令和3年度通常総会が、ホテルサンシャイン徳島アネックス（徳島市南出来島町）において開催されました。

なお、昨年度と同様、今年度につきましても新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会員の皆様には書面での出席にご協力をいただき、できる限り少人数、短時間で開催することとし、旧来どおりのような来賓のご招待や総会終了後の懇親会の開催を取りやめました。

定刻に開会し、布川会長の挨拶があり、祝電披露並びに出席者数報告の後、会長が議長に選任されました。議案審議では各議案につき慎重な審議を経てそれぞれ原案通り承認可決されました。



通常総会 全景



監事による監査報告

また、今年度の通常総会終結時をもって、会長、理事、監事全員が任期満了となるため、選考委員による指名推選の方法によって役員改選が行われました。

選考委員長の藤川副会長並びに事務局より、会長及び理事、監事の選考結果が発表され、議場にお諮りしたところ、全員意義なく承認されました。なお、副会長、専務理事及び常任理事につきましては、通常総会終了後に開催された第2回理事会において選任されました。会長・副会長は全員留任となったほか、新たに下記の方々が中央会の役員として就任されております。



役員の選考結果発表

〔専務理事〕 木具 恵

〔常任理事〕 西村 裕〔協同組合 徳島県建設業協会〕

〔監 事〕 天野多栄子〔有限会社 天野鉄工所〕

専務理事着任ご挨拶

きぐ めぐみ
木具 恵〔専務理事〕

令和3年度通常総会・理事会において、専務理事に選任いただきました木具 恵です。

ご存じのとおり、中小企業は徳島県はもとより日本の経済を牽引する力であり、優れた技術や技能で経済基盤を支え、地域における雇用を創出する重要な担い手となっています。その中小企業の組織化による経営基盤の強化や経営課題の解消に65年の長きにわたり携わり、本県の地域経済の振興・発展に深く貢献している中央会の一員として迎え入れいただいたことに感謝申し上げるとともに、同時に、その重責に身の引き締まる思いです。

現在、新型コロナウイルス感染症により中小企業の事業環境はかつてないほど厳しいものとなっており、今こそ、中小企業組織化の唯一の専門的支援機関としての使命が果たせるよう、アフターコロナを見据えた取り組みが必要と感じているところです。新たな取組みに踏み出す企業の皆様の支援ができるよう、微力ながら全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

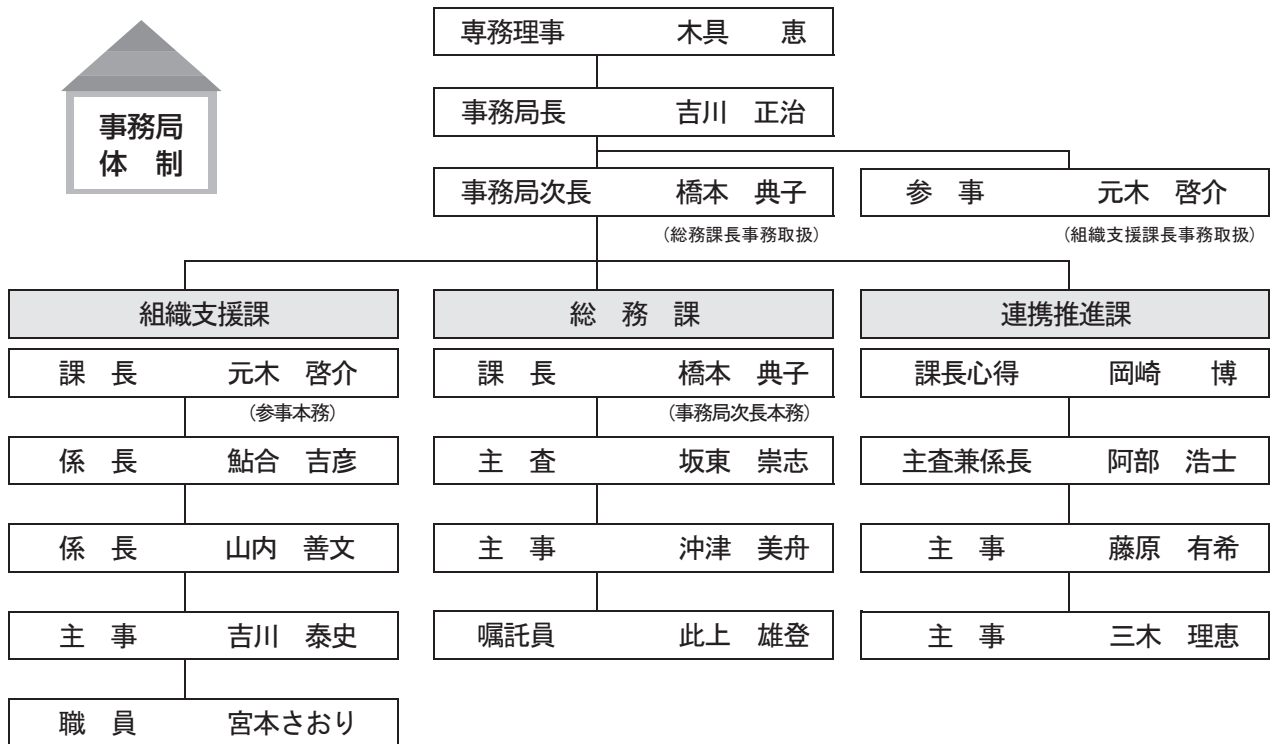
【略歴】

平成26年4月～ 徳島県県土整備部都市計画課長
平成28年4月～ 徳島県政策創造部総合政策課長
平成29年4月～ 阿波市政策監
平成31年4月～ 阿波市副市長
令和2年4月～ 徳島県南部総合県民局長
令和3年6月23日 徳島県中小企業団体中央会 専務理事選任



令和3年度 中央会 事務局組織のご紹介

事務局 体 制



中央会新入職員のご紹介

本年4月1日より、新しく中央会の職員に仲間入りしました。
これから何かとお世話になりますが、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



このうえ ゆうと
此上 雄登〔総務課 嘱託員〕

さそり座 血液型B型

■趣 味：手芸（羊毛フェルト等）

■自分の性格：熱し易く冷め易い

■コ メ ン ト：嘱託員として総務課に配属になりました。直接関わる機会
は少ないと思いますが、お会いする機会に恵まれましたら、
その時はどうぞよろしくお願いいたします。

本会は、多種多様な業種の組合等が会員となっていていただいています。各組合がその特徴を活かし日々活動が続けており、今後の組合活動のご参考になるよう、会員の皆様方の仲間を取材し、紹介していきます。

徳島県菓子工業組合

「徳島のお菓子がつなぐ幸せづくり」を理念に
徳島のお菓子の全国展開を目指す



☆組合の設立背景と近況

徳島県菓子工業組合は、昭和35年6月に徳島県下の菓子製造業者の方々により設立されました。同業者間の競争や無許可業者の排除を推し図り、共存共栄の統一機関の体制を構築してきました。

設立当時からの事業方針として、新製品開発、後継者や菓子職人の育成指導、製菓技術の改善向上、販売促進、異業種交流等の積極的な活動に継続的に取り組んでおり、近年ではスイーツグランプリの開催や食育の推進など、「徳島のお菓子がつなぐ幸せづくり」という理念のもと「徳島のお菓子を全国へ」をビジョンに様々な展開を見せています。全国展開へのまず最初の

取り組みとしては、日本三大ういろうの一角と称される「阿波ういろ」の明確なブランド化と販路拡大に挑戦しています。

☆「阿波ういろ」の歴史

徳島の「阿波ういろ」は、徳島市を中心に作られる外郎餅の総称で、古くは、家庭で作られる手作り菓子として、節句などのハレの日に欠かせないものでした。独特のもっちりとした食感と、小豆の深い味が特徴で、寛政年間（1789年～1800年）にサトウキビ栽培が阿波国（現在の徳島県）に伝わり、それをもとに作られた阿波和三盆糖が出来た御祝いとして、徳島藩主や領民一同が旧暦3月3日の節句のときに食したのが始まりと云われています。

現在では、徳島県内ほとんどのお菓子屋で製造販売されており、少しずつではありますが、認知度も上がってきています。

☆「阿波ういろ」の特徴

「阿波ういろ」の原料は、米粉や餅粉、小豆、砂糖のみで作られており、独特のもっちりとし



瀬戸内寂聴さん作の「阿波ういろ」題字

た歯ごたえと素朴な風味は、熟練の菓子職人が練り上げることで生みだされます。米粉や餅粉ならではのたっぷりな食べ応えでありながら、甘さは控えめです。

品揃えには、鳴門の塩を用いたもの、鳴門金時や栗の入った「栗ういろ」、こしあんを混ぜて棒状に加工した「棒ういろ」をはじめ、柿を入れたものやチョコレートを混ぜたものも登場し、お店ごとに違う味が楽しめるようになりました。また、砂糖の代わりに和三盆、地元産の阿波和三盆糖を用いたものも作られています。シンプルな素材で作られていますが、バリエーション豊かな、まさに郷土の歴史と文化を伝えてきた味と言えます。



「田道間守命」を祀る菓祖神祭の様子

☆「阿波ういろ」のブランド展開

当組合では、江戸時代より阿波徳島に伝わる伝統菓子の魅力を広く知っていただくため、名古屋ういろう、山口外郎と並び、徳島の「阿波ういろ」を「日本三大ういろ」の一角として積極的にブランディングしています。

平成27年には徳島県地域資源ブランド化事業を活用して新宿高島屋を中心に首都圏で「阿波ういろ」商品を販売するとともに、県内においても認知度の向上を目指した各種スイーツイベントを実施しています。イベントでは、トークショーやお客様との活発なコミュニケーション、試食等を通して好評を博し、「阿波ういろ」の魅力を新しいお客様へとお届けしています。

☆スイーツイベント展開

様々なスイーツイベントを実施してきた中で、特に平成27年から2年連続で開催された「徳島スイーツグランプリ」では、予想を大きく上回る応募をいただき、大盛況となりました。

徳島県産品を使用し地産・地消・地工による安全安心なスイーツを提供する菓子屋の姿勢や、県民の皆様にグランプリを決定していただくことで菓子文化が愛され、さらには全国ブランドへと繋げていきたいという想い、また、できるだけ作り手に光を当て、業界の後継者が育っていくように、頑張ってみよう目指してもらえるような機会を、という想いで、プロ部門と学生部門で作品を募集したものです。

審査委員長には徳島県知事をお迎えし、スイーツを愛する有識者やメディア関係者で構成する審査委員の皆様と、美味しさ、アイデア、徳島らしさ、などの観点から審査を行いました。最終選考に残った5作品を、大規模商業施設で開催している主要イベントである「スイーツフェスタ」にて一般のお客様へ販売し、その個数でグランプリを決定しました。

この「スイーツフェスタ」では、試食アンケートやお菓子づくり体験教室、お菓子づくりの実演などが実施され、多くのお子様連れに楽しんでいただいております。現在でも毎年開催されているイベントとなっています。



第1回グランプリ受賞作「乱舞」



スイーツフェスタの様子

☆業界の将来を見据えた今後の活動

「阿波ういろ」のブランディング企画や各種イベントの開催の裏には、組合青年部を主体とした若手の活躍が欠かせないものとなっています。

組合の執行部もベテランばかりではなく、若手や女性を積極的に採用して、組合設立当初からの「同業者間の競争や無許可業者の排除を推し図り、共存共栄の統一機関の体制を構築する」という、現在でもこれがまさに形となって活発な活動を実現させています。

催事や勉強会などの企画・立案には、技の伝承委員会、菓子屋の仕事委員会、ブランド戦略委員会の3つの委員会が柱となって、参加企業様に少しでも収益的に有利になるよう、どの事業にも明確な目的を立てて取り組んでいます。また、平成27年度からは、賛助会員の皆様にお願ひし、「進む方向は同じ仲間同志、より絆を強く」という趣旨で「力持ちの会」を立ち上げていただきました。

このように、運営組織に多様性を持たせることで、多方面の観点から意見を頂戴し、偏ったものにならないよう努めています。

ここ3年ほどは、残念ながらスイーツグランプリは一旦お休みとしていますが、スイーツフェスタは継続して開催しており、催事の目玉には工夫菓子の展示やマチアソビとのコラボスイーツ販売など、創意工夫を凝らしています。

あらゆる機会を利用して徳島のお菓子の紹介



青年部主導で実施したアマビエチャレンジの一品

をしていこうという考えのもと、どの様にすれば多くの県民に支持され、期待される菓子屋になれるか切磋琢磨しています。

コロナ禍の中、まだまだ収まる気配はありませんが、各メンバーが知恵を出し、皆が協力していく事で新しいチャンスが生まれていくと思っています。

これからも徳島県菓子工業組合ならではのおもてなしの精神とチームワークの良さを発揮し、たくさんのお菓子を通してお客様の笑顔を繋いでいければと思っています。



お菓子づくり体験の様子

組合プロフィール

徳島県菓子工業組合

住 所：〒771-0202

徳島県板野郡北島町太郎八須字西ノ瀬
34番地 8 〔株ネオビエント内〕

電 話：088-678-5868

FAX：088-678-5868

理事長名：和田 茂夫

業 種：菓子類生産業

組合員数：83人

組合HP：<http://www.tokushima-kashi.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/tokushimakashi/>



理事長
和田 茂夫 氏



Website



Facebook



犬伏製薬株式会社

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、ものづくり・商業・サービス分野において独自の事業展開に取り組む事業者を対象に、補助金交付や事業推進支援を行っています。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第26回目は平成29年度補正からものづくり事業に取り組まれた『犬伏製薬株式会社』をご紹介します。同社は、新たな測定機器設備を導入して試験を行ったことで、未発売であった漢方薬の製造方法・製品評価を確立することができました。これによって、独自の付加価値を持たせた製品の製造が可能になり、今後の事業展開が広がることとなりました。

今回は、代表取締役社長の犬伏壮一郎氏にお話を伺いました。

1 御社は1800年頃創業のようですが、漢方薬の製造を始めた経緯とこれまでの沿革をお聞かせください。

家伝や残存している数々の古文書などの文献を調べたところによりますと、犬伏家が薬業に関わるようになったのは安土桃山時代の末期（1600年頃）、持病のため歩行困難となった旅人が当家に助けを求めて訪れたときに始まります。

当家で手当を受けて全快したその旅人が、恩義に報いるために、ある漢方薬の処方伝授をしていきました。その薬を「龍虎圓（りゅうこえん）」と名付け、近隣の人々に施したところ、薬効が著しく評判となったと言われています。

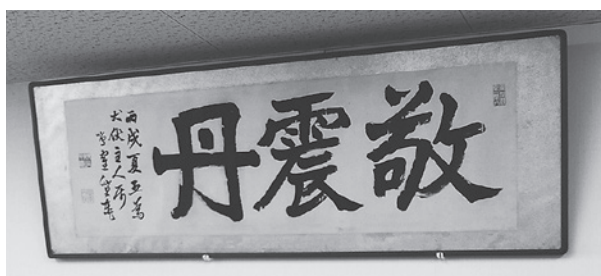
その後、200年ほど経った江戸時代の文政年間（1818～1830年）、当時の当主である犬伏九郎左衛門の代に、阿波藩の御典医であった橘春庵の指導を得て「龍虎圓」の改良が成され、薬



代表取締役社長 犬伏 壮一郎 氏

名も「敬震丹（けいしんたん）」と改められました。つまり、現在の当社を代表する伝統薬である「敬震丹」の創製は1800年代となります。

ただ、敬震丹創製当時の家業は、藍玉の取引を主とした藍商でした。藍はもともと薬草としても扱われており、薬草としての藍取引によって薬業の中心地であった大阪道修町などとの関係が築かれました。そのことによって、鎖国していた当時としては大変貴重だった「麝香（じゃこう）」や「牛黄（ごおう）」といった動物性由来の生薬の仕入が可能になり、製薬業にもより



書家 日下部 鳴鶴 の書

注力するようになりました。

明治期に入ると、天然藍は安価な化学染料（合成藍）の登場によって衰退の傾向が強まったことも影響し、製薬業を主力に移行していきました。

以来、絶え間ない改善・改良を施しながら、昭和47年に法人化し、先代によって、それまで手工業的な生産体制であったところに機械設備を導入して工場の近代化を図りました。

さらには生薬を用いたドリンク剤や風邪薬などの新製品を開発して品揃えを充実させるとともに、販売方式を漢方専門薬局への直接販売・直接営業に切り替えるなど、経営面での変革も進め、現在の体制に至っています。



犬伏製薬株式会社

2 平成29年度補正ものづくり補助金事業で「弊社のみが製造可能で要望の高い漢方薬の製品化と事業展開」の計画名で事業を行っています。成果と今後の課題についてお聞かせください。

成果としては、生薬のカプセル充填工程をはじめ、製造方法・製品評価方法の確立や製造上の各課題を、ものづくり補助金事業により導入した機器を活用することでクリアし、試作完了したことです。

しかし現在、原料としてキモとなる生薬である「牛黄」が高騰（仕入原価が以前の3～4倍）しており、相場が落ち着くのを待っている状態が続いています。

また、原料の一つである生薬「麝香」は、ワシントン条約によって40年ほど前に商業目的の国際取引が原則禁止とされています。このことで新規の製造許可は取得できないのですが、当社では規制される以前に既に製造許可を取得しており、「弊社のみが製造可能」という付加価値を持たせることができました。



液体高速クロマトグラフィ（左）・分光光度計（右）

3 漢方薬は2種類以上の生薬を定められた量で組み合わせた薬であると云われていますが、新しい薬の開発とはどのような工程で行われるのでしょうか。

弊社で新しい漢方薬の開発は、現状まだ行っておりません。生薬の組み合わせは、自由に決めてよいというものではなく、臨床試験無しで



麝香（じゃこう）（左）・牛黄（ごおう）（右）

承認取得可能なものは、「葛根湯」のように昔からある処方、国の承認基準を満たす組み合わせの処方、昭和46年以降の前例がある処方（又はその組み合わせ）になります。

逆に、昭和初期までに承認された生薬製剤の処方の自由度は高く、「既得権の処方」と呼ばれています。弊社では、この「既得権の処方」を大事に製造販売することに主眼を置いております。前回のものづくり補助金事業で試作した「活寿」も、「既得権の処方」によるものです。

4 健康食品や機能性食品と称して種々の製品が販売されています。漢方薬製造に携わっている立場から見た位置づけを教えてください。

漢方薬は、4千年の自然淘汰を生き残ったものですし、弊社が製造するような家伝薬や伝統薬（日本で古くからある生薬製剤、広い意味での漢方薬）は、日本の気候風土、日本人の体質の中で生き残ったものです。体質や症状に合うものを選ぶという前提になりますが、間違いのないものだと思います。

「敬震丹」だけを見ても、太平洋戦争前は「細丸敬震丹」という丸剤がありましたが、結果的には服用しやすい丸剤よりも、元々の板状錠剤が生き残ることとなりました。「敬震丹」は、

芳香性の気剤の配合が多いのが特徴で、香りにも薬効があります。飲みにくい板状錠剤は、必然的に口中で溶かしたり噛み砕いたりすることとなり、香りで気を巡らせるという薬効が得やすかったため、丸剤よりもよく売れていたのだと考えられます。

健康食品も効能・効果を謳えないジャンルでありながら、実際に効果が

感じられる製品もあります。一方で、発売直後の商品等は、試してみないと分からないという面もあるかと思います。どちらも、自分に合うものを見つける、又は合うものを提案してくれる医師や薬剤師などの専門家を見つけることが大事なのではないでしょうか。

また、健康食品等を食したことで健康被害が出た場合に何らかの救済措置があるかどうかは存じ上げませんが、医薬品の場合は、「医薬品副作用被害救済制度」という公的な救済措置があります。



「敬震丹」独特の板状の錠剤



敬震丹を作り出す道具たち

薬研（左上） 裁断器（右上）
片手切（左下） 藥鉢（右下）

5 最近では風邪薬の漢方薬が医院でも処方されるようになってきました。その動向の要因はどのように考えられますか、今後の漢方薬の方向性を含めて教えてください。

漢方薬を多くの医師が処方するようになったのは、薬価収載（※）され保険で使用できるようになったことが大きな要因であると思います。小太郎製薬株式会社様の6品目が昭和42年に最初に薬価収載されました。

また、医師や業界も保険で漢方を使用できる



ことを周知してきたため、保険での漢方処方が増えてきました。

保険の漢方の課題としては、薬価が抑えられるなかで、原料が高騰していることだと思います。生薬の一番の消費国は中国ですので、中国が豊かになれば生薬の相場は上昇します。一方で、最近は例外もありますが、2年に1回薬価は引き下げられます。このため、漢方薬の原料である生薬の質をいかに担保するかが重要になります。

保険に縛られなければ、自費での漢方薬局での相談や、都会が中心になりますが、自由診療の漢方クリニックという選択肢もあります。

薬局薬店で購入できる家伝薬や伝統薬のなかには保険では使用できない高貴薬（効果も価格も高い動物生薬）を含む製品もあります。また、薬局薬店や自費診療のクリニックでは、保険の漢方とは異なる中国で昔からされてきた製法で製造した漢方薬や、保険では取り扱いのない処方等、より個人の体質に合わせた漢方を処方してくれるケースもあります。

※薬価収載

国が定める、保険医療で用いられる医療用医薬品（医師から処方される薬）の価格が、薬価基準（保険診療で使用できる医薬品の価格表）に収載されること。

6 御社は、商社や卸問屋を介さず、漢方薬局などと直接取引をする形をとっていますが、こういった理由があるのでしょうか。

弊社のように特殊な生薬を用いた広い意味での漢方を作るメーカーもあれば、「葛根湯」など、いわゆるスタンダードな中国由来の漢方を作る会社もあって、漢方を製造する製薬メーカーも多種多様です。販路も大手製薬メーカーになると、多量生産が可能なこともあって、卸屋さんを通すものと、直販するものとを別けて展開されているところもありますが、弊社の場合は、いわゆる卸屋さんへ納品してそこから販売するというのではなく、直販のみとしています。

というのも、漢方薬局などでは、患者さんを個々にカウンセリングして、それぞれに合わせた薬を紹介・販売しています。弊社のような特殊な薬を扱うメーカーは、責任をもって合う薬を薦めることができる薬剤師等がいる相談薬局や漢方薬局と直接取引する形態をとっている場合が多いです。

ただ、現在計画を進めている海外展開については、直販というのは難しいため、商社を通す方式をとる予定です。



7 その海外展開も含め、今後の展望についてお聞かせください。

海外展開については、爆買いに象徴される Made in JAPANの医薬品の需要増に対応し、当社主力の気付け薬である「敬震丹」を海外向けに仕様変更して商品化するとともに、同業他社へOEM供給することで海外展開を目指すことも視野に入れております。

まず、海外で医薬品として承認を取るというハードルがありますが、現状では当該国からの許可が事業実施期間中に降りるかどうかは分からないため、申請までとなる可能性が高いです。展開する対象国は、マカオや香港など中華圏・東洋圏が主体となりますが、イスラム教圏はハラールなどの関係で難しいかもしれません。

日本国内での製造・販売は可能ですが、海外販売となるとワシントン条約の規制を受ける生薬原料もあるため、そういったものを抜いた「輸出可能な敬震丹」の開発も、法的要件と併せてクリアできればと考えています。

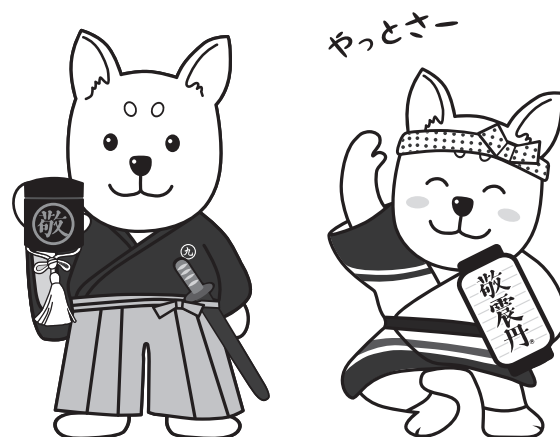
医療用医薬品の場合は治験があり、こういった病気や症状に効果があって何%改善した等のデータが取られますが、「敬震丹」のような薬局向けの家伝薬・伝統薬というのは、臨床試験をしていません。一方で、自然淘汰を生き残っている薬ですので、体質や症状の合う方にとっては、効果が見込めます。そのため、昔から長年服用されてきたなかでの一例報告の積み重ねがすべてです。

最近では、「敬震丹症例集」を発行しましたが、これは、取引先の漢方薬局等から、「敬震丹」を処方した際の効果報告などを提供していただいて、まとめたものです。

こういったことを踏まえての今後の展望ですが、既に、海外での医薬品販売の実績があって、同時に当社製品とバッティングしない商品ラインナップの製薬会社様から、海外展開に向けた支援を受けることが決まっています。対象国でのニーズ調査等も進んでおり、先に述べたように「既得権の処方」により作られますので、競合他社の脅威も今のところはありません。

また、Made in JAPANの医薬品は、アジア諸国で注目度が上がっており、今回契約しようとしている海外商社からも高評価をいただいています。

法的要件のクリアや海外展開向け製品の開発のほか、解決すべき課題はまだたくさんありますが、この海外展開によって、自社の成長のみならず、現地エンドユーザーの生活の質の向上や、将来的な地域経済の発展に、微力ながら繋がっていかば良いという想いのもと、頑張っていきたいと考えています。



イメージキャラクター イヌブシくん

企業の概要

- 会社名 犬伏製薬株式会社
- 代表者 代表取締役 犬伏壮一郎
- 業 種 医薬品の製造販売
- 業許可 医薬品製造業許可
第二種医薬品製造販売業許可
- 従業員 10名
- 設 立 昭和47年 2月 1日
- 所在地 徳島県板野郡藍住町東中富字
東傍示64-6
- 電 話 088-692-2302
- FAX 088-692-2352
- URL <http://inubusiseiyaku.com/>



【取材を通して】

当社が薬業に携わるようになった発端が、安土桃山時代まで遡る、という話を伺って、純粋に驚き「そんな時代が実際に確かにあったんだ」という実感を今更ながら感じました。

現代における会社法人としては約50年ですが、「敬震丹」創成から考えると、まさに200年企業と言え、元々は城主であったこともあって、「幾重にも重なった土台の上に建つ城」という印象を持ちました。

犬伏社長におかれましては、我々が投げかける素人質問に対して、できるだけ分かりやすく伝えようとしていただいているのが感じられ、誠実なお人柄が覗えました。

この度はお忙しいなかご対応いただき、ありがとうございました。



組合ホットニュース

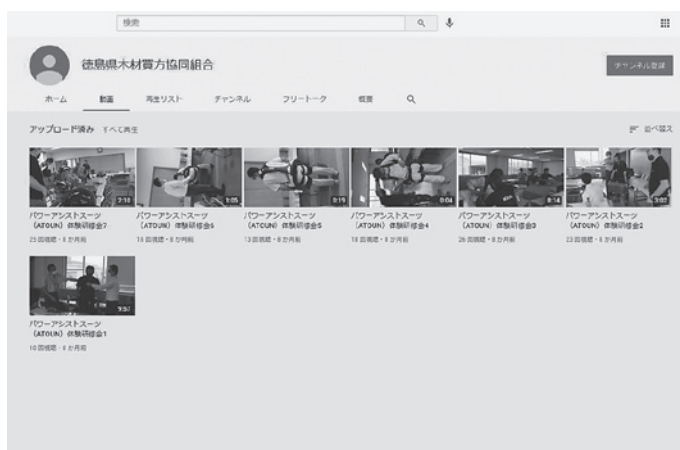
パワーアシストスーツ体験研修会を実施 ～ 徳島県木材買方協同組合 ～

徳島県木材買方協同組合は、パワーアシストスーツ（ATOON）の着用体験研修会を開催し、体験会の様子や、着用方法、着用効果について説明したYouTube動画を組合HPに掲載しています。

当組合を構成する事業者は一般製材業や木材卸売業で、運搬機器等を利用することができない狭い現場での重量物の運搬や上げ下ろし作業は恒常的に発生します。こうした作業に係る負担は、腰痛や椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症などを引き起こす原因となり、重篤な労働災害につながることへの懸念が常にある状況です。

パワーアシストスーツは、体に密着する機械を装着することで、狭所でも重いものを持ち上げやすくするなど、作業をサポートするもので、作業員の身体的安全を確保するだけでなく、過去に受傷した者や女性でも作業できるようになるなど、作業効率向上や労働時間削減に繋げられ、労働人口の減少による負担増への対応にも効果が期待できます。

各組員企業において、労働環境は各々異なるところではありますが、今後は、上半身（腕）をアシストする機器を導入することで、さらなる作業負担の軽減の実現を目指しています。



徳島県立みなと高等学園に畳20枚を寄贈 ～ 徳島県畳商業組合 ～

本年2月、徳島県内の畳製造販売事業者50社で組織する徳島県畳商業組合が、小松島市中田町の徳島県立みなと高等学園に畳20枚を寄贈し、生徒が社会スキルを学ぶ教室の畳が新調され、環境改善やさらなる教育活動の推進が図られました。畳贈呈式も行われたほか、ミニ畳の製作体験も実施され、直に手で触れ、ひとつのものを作る喜びと楽しさを生徒たちに伝えています。

当組合の基本理念である「さわやかな畳の上での生活を提案し、日本のふるさとを守り、創造する」の精神の下、品質管理委員会、広報委員会、技能委員会、事業委員会の4部門の委員会が柱となり、それぞれが協力しながら様々なことにチャレンジするなど、組合員一人一人が熱意をもって、一丸となり、業界の発展に繋げる活動や社会貢献を積極的に行っています。

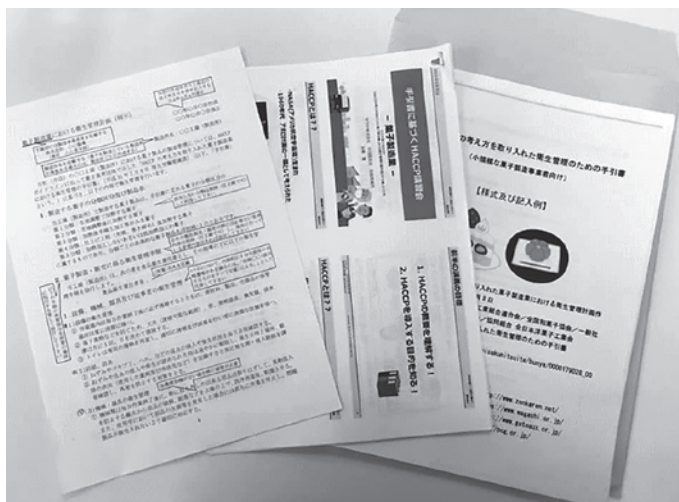


HACCP（ハサップ）講習会を開催 ～ 徳島県菓子工業組合 ～

徳島県菓子工業組合は、令和3年5月31日、徳島県工業技術センターにおいて、サラヤ株式会社中国支店四国営業所より講師をお招きし、手引書に基づくHACCP講習会を開催いたしました。

HACCP（ハサップ）とは、Hazard（危害）、Analysis（分析）、Critical（重要）、Control（管理）、Points（点）の5つの単語の頭文字に由来し、製品への危険物質の混入に対し作業過程を整理・分析・管理することでそのリスクを減らす衛生管理の手法で、昨年6月から対応が義務化されています。

焼き菓子や生菓子など、お菓子は製造する過程が製品によってまるで違うため、それぞれに管理記



録が必要となります。講習会では、HACCPの概略から始まり、導入の目的、最後は実際に重要管理点を出し、管理計画を作成しました。この衛生管理を行うことで、より安全で安心なお菓子の提供が可能になります。

「春のとくしまスイーツフェスタ」を開催 ～ 徳島県菓子工業組合 ～

徳島県菓子工業組合は、イオンモール徳島 1 F 食品催事場にて令和 3 年 4 月 16 日（金）～18 日（日）の 3 日間、ゆめタウン徳島 1 F 藍の広場にて令和 3 年 4 月 23 日（金）～25 日（日）の 3 日間、「春のとくしまスイーツフェスタ」を開催しました。

組合員 14 店のお菓子が一堂に会し、また、会場では揚げたてのかりんとう饅頭、蒸したてのかしわ餅の実演販売を行いました。





おめでとうございます 令和3年度 徳島県表彰

令和3年度徳島県表彰式が、6月11日（金）、JRホテルクレメント徳島（クレメントホール）において挙行されました。

地方自治や社会福祉、保健衛生、教育、文化、産業などの分野で功績のあった54人・2団体への表彰があり、今回、当会からの推薦では、徳島県鉄鋼協同組合の坂本 守理事長が受賞されました。

ほかには、本会会員組合から柏原博司氏（しらさぎ協同組合理事長）、多田雅信氏（徳島製材団地協同組合理事長）、中筋章聡氏（徳島市指定上下水道工事店協同組合専務理事）、平田 茂氏（協同組合協町建設業協会理事長）、藤野和也氏（徳島医師協同組合理事）、松下昭彦氏（鳴門市水道指定業者協同組合専務理事）、元木文昭氏（徳島ビルメンテナンス協同組合副理事長）の7名の方が、他の各団体等からの推薦を受けて受賞されました。



坂本 守氏
（徳島県鉄鋼協同組合 理事長）



柏原 博司氏
（しらさぎ協同組合 理事長）



多田 雅信 氏
(徳島製材団地協同組合 理事長)



中筋 章聡 氏
(徳島市指定上下水道工事店協同組合 専務理事)



平田 茂 氏
(協同組合協町建設業協会 理事長)



藤野 和也 氏
(徳島医師協同 組合理事)



松下 昭彦 氏
(鳴門市水道指定業者協同組合 専務理事)



元木 文昭 氏
(徳島ビルメンテナンス協同組合 副理事長)

(順不同・敬称略)



令和3年5月

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

自動車販売整備業では引き続き需要が好調であった様子。また一部業種からも持ち直しの動きがあるとの明るい報告も寄せられた。

一方、高齢化や人材・後継者不足など慢性化する労働力問題をはじめ、依然として原材料高や燃料価格の値上がりも続いている。加えて、長引く新型コロナウイルスの影響により、売上や集客を見込めず先行きを不安視する声も多くの業種から寄せられた。またウッドショックによる価格高騰や在庫不足により国産材への需要が高まる反面、入手難による現場の遅れなども発生している。

景気は米中貿易摩擦や日韓関係の悪化など緊迫する国際情勢、また我が国をはじめ世界中で出口の見えない新型コロナウイルス問題など国内外経済の下振れリスクが顕著化してきており、一部に持ち直しの動きがあるものの景気の低迷が続いている。県内中小企業においても、更なる景気の悪化に備える必要がある。

《製造業》

《食料品》

【味噌】前年同月比、みその生産量は98.9%、出荷量は97.4%であった。巣ごもり需要で一部の食料品の消費が増えており、みそ業界も新たな販路の開拓が重要。

【漬物】依然収益の低下が続いている。農家では農産物の輸入が減少しているため販売価格は好調であるが、納品先の企業の廃業・休業等で出荷数量の減少がみられる。

《繊維・同製品》

【縫製】資材の値上げ要求が続いており、6月より新価格での納入となった。設備面では日本製の機械設備がほとんどなく、海外品の購入に頼らざるを得ない状況は相変わらずで、納期面・購入価額面での不利益が多いが、数基導入予定である。

《木材・木製品》

【木材】6月に入り原木丸太が非常に少ない。注文はかなり多い状態。金額も高騰中。

【製材】ウッドショックによる外材の輸入量激減により4月以降価格が高騰。工務店が木材確保のため国産材メーカーに対して直接取引をオファーしている所もある。プライスリーダーとなっている県外大手製材メーカーが引き続き値上げ表明し、価格はしばらく高止まりしそうだ。

【木材】ウッドショックにより在庫不足、価格高騰、見積りが不安定なのが木材業界の現在の状況だ。

【製材】ウッドショックにより外材一部製品が品薄状況。

《印刷》

【印刷】相変わらずコロナ禍でイベント関連の印刷物がなくなり、官公庁の入札では激しい取り合いが続いている。更に5月は休みが多く売上也がりにくく、益々厳しい状況である。

【印刷】例年の5月に比べると10%ぐらい落ちている企業が多数を占めた。救いは雇用調整助成金の7月までの延長と一般企業からの受注が少し持ち直してきたことである。

《窯業・土石製品》

【生コン】5月は昨年同月と比較して約22%減。例年より早い梅雨入りで連休もあり営業日数が少なかったのが主な要因であると考えられる。ただ、本年度は昨年度より県や市町の公共工事に関する予算も減少しているため、出荷量が減少することは間違いなさそうだ。

【生コン】5月の出荷数量は、対前年同月比13%減であった。大型工事の終了とそれに代わる官での新規工事の減少による。民間工事でも前年比減少にて先行面での見通しはやや暗い。県・国等の公共工事は秋以降に見込めるものの前年並みに数量確保は厳しいと思われる。

《鉄鋼・金属工業》

【鉄鋼】景況感に大きな変化はなく、設備稼働度も横ばい。

【ステンレス】設備投資も大手を中心に徐々に改善の兆しが見受

けられる。海外については地域により状況は異なるが、取引の再開に向けた動きもある。

《一般機器》

【機械金属】景況感には、一部に改善の動きも見られるが、新型コロナウイルスの影響もあり、営業活動の停滞、投資の中止や延期等により売上高や引合いなどに、依然として厳しい状況も見られる。

《非製造業》

《卸売業》

【食糧卸】米穀は消費減により価格低迷。一方、小麦粉、食用油は需要過多により高騰。

《小売業》

【ショッピングセンター】先月と比較して、売上は111.3%(客数106.5%)だった。昨年・一昨年よりどんどん悪化。売上構成比の高い核店舗、全国チェーン店やドラッグストアが苦戦した。【電気機器】昨年より仕入単価(商品・材料)共に値上り傾向にあり。入荷も遅れぎみの状況。

【量小売業】梅雨入りが早かったため、一般家庭の仕事が少なかった。新築現場は木材不足の影響を受けて遅れている。

《商店街》

【徳島市】営業時間短縮に伴い、飲食店の売上が下がっている。夜の人通りがまったく見られない。

【徳島市】GWに予定していたイベントは全て中止となり集客見込めずだった。図書館が21日まで閉館していた影響も大きく人通りがない。

【鳴門市】5月は県内のコロナ増加により、例年の売り出しイベントを中止したので、売上はそんなになかった。商店街全店、同じような状況であると思う。

《サービス業》

【土木建築業】工務課は新直轄工事の新規発注資料作成と一般道の新規工事発注に伴う業務が増加。道路管理課は局依頼調査資料が相変わらず多い。交通対策課は課全体の工事・業務は少ないが、先月より倍近く増加。

【自動車整備】自動車の登録台数合計は対前年同月比28.4%の2,840台と増加。5月の販売台数は登録車・軽自動車ともに前年度を上回る結果となった。特に軽自動車の新車販売台数が前年度より74%増と大きくアップ。前年度は増税後の反動減に加えコロナ禍でもあり、販売台数が大きく落ち込んだ時期でもあった。今年度に期待したい。

【旅行業】GWにもかかわらず売上は皆無で依然厳しい状態。

【ビル管理】新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ホテル分野のメンテナンス業においては、雇用調整助成金等による休業補償でしのいでいるものの、現在なお収束のめどが立たない状況で低収入による従業員の職場離れが発生。

《建設業》

【建設業】県下の公共事業の5月の発注状況は、全体で対前年比約23%の増となっている。国、県、市町村が増加。

【電気工業】新設住宅口数は210件だった。

【板金工業】住宅関係で木材の高騰と同時に鉄板が急激な値上がりとなっており、今後の見通しが立たない状態。

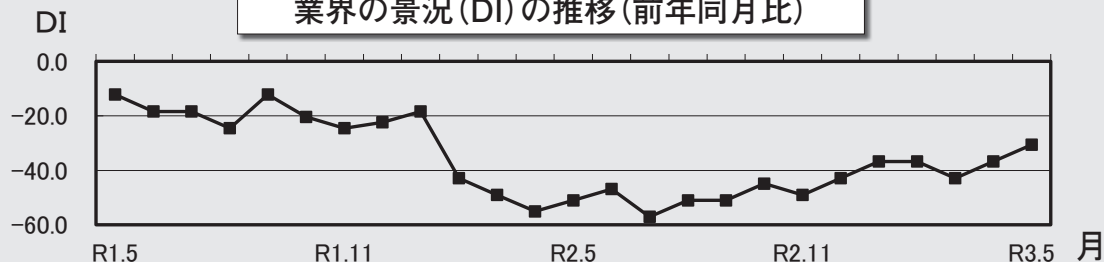
【解体工業】民間戸建て住宅解体工事について各市町において補金制度があり、4月以降県内全般に見積り依頼件数が多く見受けられる。

《運輸業》

【貨物運送業】新型コロナの影響は少しずつ改善方向に向かっているが、取扱い業種によってはばらつきが出ている。一方、軽油単価は前月比2円強の値上りとなり、運送業界にとってはより厳しい現状となっている。

【貨物運送業】コロナ禍での荷物の回復状況に運賃荷物によって差が出ているようだ。帰り荷がない状況は依然として続いており事業者は厳しい状況であるとの声を多く聞く。

業界の景況(DI)の推移(前年同月比)



※DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇ 令和3年度 徳島県青年中央会 通常総会 ◇

令和3年6月29日（火）、徳島市のサンシャイン徳島アネックスに於いて「令和3年度徳島県青年中央会通常総会」が開催され、令和2年度事業報告及び収支決算承認等の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。



後藤田会長挨拶



通常総会 全景

◇ 令和3年度 組合青年部リーダー交流会議の開催 ◇

通常総会に引き続き令和3年度第1回組合青年部リーダー交流会議を開催しました。GCOキャリア・コンサルティング事務所代表の尾形隆平氏を講師にお迎えし、「できる会社の人材採用・育成戦略」をテーマにご講演いただきました。求人募集のツールや人材の定着が促進されるような職場環境についてご説明がありました。



GCOキャリア・コンサルティング
代表 尾形 隆平 氏



リーダー交流会議風景

★今後のスケジュール★

- 第2回役員会（令和3年8月予定）
- 四国ブロック交流会議（令和3年9月頃予定）
- 全国青年中央会 全国講習会（令和3年11月12日 大分県）



女性部コーナー

女性部活動トピックス

とくしまレディース中央会 令和3年度通常総会開催



通常総会 全景

令和3年6月25日（金）14時から、徳島市のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて「とくしまレディース中央会」の令和3年度通常総会を開催しました。会長の中本ユミ子氏の挨拶後、各種提出議案を審議し、原案通り承認・決定されるとともに、併せて以下の通り役員の改選を行いました。

（会 長）柔道整復師会協同組合

（副会長）有限会社天野鉄工所

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク

有限会社インテリア井上

徳島県鉄骨構造協同組合

（理 事）有限会社酒牧製作所

（監 事）美馬商事株式会社

大樹生命保険株式会社徳島支社 北島営業部

中本ユミ子

天野多栄子

川原 佳子

井上 幸代

伊丹 恵

酒牧 美穂

美馬香都子

酒井 順子（敬称略）

通常総会終了後の研修会では、株式会社高橋ふとん店 代表取締役社長 高橋武良様を講師にお迎えし、「社員と共に会社を成長させる～人を生かす経営の実践～」をテーマにご講演頂きました。

社員が定着し、企業が発展するためには、理念の策定と共有が必須とのご説明があり、当社にて実践されている取り組みに関するお話は大変参考になり、参加者にとって有意義な時間となりました。



研修会 講師 高橋武良氏

☆今後のスケジュール☆

- 鳥取女性中央会とのリモート意見交換会（令和3年9月下旬予定）
- レディース中央会女性部会長会議・全国フォーラム（令和3年10月7日 宮崎県）
- 視察研修・交流会（令和3年11月下旬予定）
- 新年交流会・研修会（令和4年2月予定）

組合活性化情報令和元年度第1号から中央会事務局職員が会員の皆様に、より親しんでもらえるよう、プライベートなこと（趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事など）について、綴っていきます。第9回目は、木具専務理事です。

木具 恵 [専務理事/令和3年6月23日就任] 寅年、水瓶座、血液型A型

①自己紹介

珍しい苗字ですが、生まれも育ちも徳島です。木具姓は全国的に珍しく、唯一徳島県だけに存在する苗字で20人位いらっしゃるらしいです（不正確）。

というのも県南には私の一族11名が暮らしておりますが、県西部にいらっしゃるらしい10名の木具さんとは縁もゆかりもありませんので、正確な人数は不明です。

ちなみに、日本全国に存在するパンダの数が10頭らしいので、私の木具一族はちょうどパンダ並みの繁殖力といったところでしょうか。

滅多にお目にかかることのない「絶滅木具種（ぜつめつきぐしゅ）」に会いに是非、中央会に足を運んでいただけると嬉しいです。

また、こちらから積極的に押しかけることがあろうかと思いますが、迷惑がらずパンダ並みに可愛がっていただきますようお願いいたします。



②趣味について



大して珍しい趣味ではありませんが、ランニングやロードバイクの「有酸素運動」に始まり、車・バイク「いじり」を嗜み、最近では「DIY」に加え「サーフィン」にまで手を出し、それらを「動画」にする遊びまで覚えてしまいました。

おかげさまで、週末は地獄のような忙しさです。

共通の趣味をお持ちの方から声をかけていただけると大変嬉しいです。

しかしながら、多趣味の部類に属する私ですが、お酒、カラオケ、ゴルフがからっきしダメで、親父の遺言で「人前でカラオケとゴルフだけはするな」と言われています。

③モットー

最近はハマっている“迷言”が、「私には苦手はない。それは伸びしろだ（カラオケ、ゴルフを除く）」です。言ってることが支離滅裂ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。





お知らせコーナー

組合の押印を求める行政手続き等の一部が見直されました

このたび、行政手続きにおける押印の見直しを図るため、中小企業組合が行政庁に対して提出する「中小企業等協同組合法施行規則」「中小企業団体の組織に関する法律施行規則」及び「公正取引委員会規則」において押印を求められていた申請書や届出書の各様式については代表者等の押印が不要な形式に改正されました。

改正の概要

中小企業組合に関する以下の規則において、押印を不要とするための一部規定の見直し（様式の見直しを含む。）が行われています。

○中小企業等協同組合法施行規則（様式第1から様式第33まで及び様式第35から様式第43までの規定中「印」を削る。）

○中小企業団体の組織に関する法律施行規則（様式第1から様式第17まで及び様式第19から様式第23までの規定中「印」を削る。）

○中小企業等協同組合法第7条第3項の規定による届出に関する規則（様式の規定中「令和」「印」を削る。）

実施された見直しの対象は、あくまでも行政手続の申請や届出における様式や添付書類ですので、組合と組合員、又は組合と役員でやりとりする書面における押印について、直接影響を及ぼすものではありません。

組合に関する文書への押印が全部不要になったものと誤解されているケースもみられますので、ご留意願います。



押印見直しに関するポイント

○今回の押印見直しは、行政手続きにおける国民の負担を軽減し、国民の利便性を図ることを目的に、令和2年7月に閣議決定された「規制改革実施計画」（令和2年7月17日閣議決定）において、「原則として全ての見直し対象手続について、恒久的な制度的対応として、令和2年内に、規制改革推進会議が提示する基準に照らして順次、必要な検討を行い、法令、告示、通達等の改正やオンライン化を行う」とされたことを受けた見直しです。

今後、申請手続のオンライン化を促進し、受付業務やその先につながる業務フローのデジタル化、それによる行政サービスの向上へとつなげる端緒となることが期待されています。

○法令で押印又は署名を求められているもののうち、今回の改正の対象から外れているものについては、引き続き押印又は署名が必要になります。具体的には、以下が挙げられます。

- ・理事会に出席した理事及び監事の議事録への署名又は記名押印（中小企業等協同組合法第36条の7第1項）
- ・組合員の連署による役員の改選請求（中小企業等協同組合法第42条第1項、第42条第8項で準用する第48条）

※組合によっては、定款に定めがある手続きは引き続き拘束力を持ちます。

※行政手続以外の手続については、今回の改正によって直接の影響はありません。従来の押印による組合の手続を見直す場合、押印に代わって本人性の確認及び真正性の確保が可能となるような代替する手段を講じてください。

編集 後記

◆第159号発刊にあたり、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。

◆特集では、『令和3年度徳島県商工労働観光部主要施策の概要』『徳島県中央会事業の概要』についてご紹介しています。ご興味のある施策や事業がございましたら、中央会までお問い合わせください。

◆今回の「ものづくりの達人」では、犬伏製薬株式会社様をご紹介しています。
同社の業歴は、さかのぼること安土桃山時代（1573～1601年）、犬伏城城主であった先祖が旅人を助けたことに端を発する長い歴史を持つ会社です。
現在は社としている犬伏家の家訓『信は万事の元を成す』という言葉は、製薬に関わらずすべての真っ当な産業に通ずる良い言葉だな、と素直に思います。
この社事にならって産み出される様々な漢方薬や伝統薬には、長年にわたって積み重ねられてきた改良と原料に対するこだわりが詰まっており、信頼感と重厚な存在感を感じました。この度は興味深いお話をお聞かせいただきありがとうございました。

◆今年、四国地方は1951年の統計開始以来、最も早い梅雨入りとなりました。
梅雨入りが早い年の夏は蒸し暑くなる傾向が強いと聞いたことがありましたが、いかがでしょうか。あいかわらずマスクが手放せない状況が続いていますが、今では様々な工夫が施された商品が出ています。蒸し暑い中でも新型コロナウイルス感染症対策は必要です。皆様も体調管理には十分お気を付けください。

◆今年度、情報誌担当がかわりました。今までは読む側で、編集や制作に深く関わったことがなかったので不慣れなことも多いのですが、見やすい誌面づくりを心がけようと思っています。まずは今年度1年間、どうぞよろしくお願いいたします。最後までお読みいただきありがとうございました。



vol. 01

令和3年度 第1号
(年間4回発行 通巻第159号)

組合活性化情報 中央会とくしま



一ノ森山頂 水彩画/布川 嘉樹